

No.2 「いただきます」

先週の宿題ですが、いろいろな答えを聞かさせていただきました。「ありがとうの意味を知らなかつた」とか「ありがとうがいやな言葉だったから」などたくさんつぶやきをいただきました。つぶやいてくれたお友だちのみなさん、ありがとうございました。

「なぜ、モンゴルの人がありがとうと言わないのか」ということには、いくつか答えがあります。

1つは「ありがとう」と言ってしまうと、もうそれで二人の関係が終わりになるとを考えているからだそうです。どういうことかと言うと、例えば消しゴムを貸してくれて「ありがとう」ではなく、かわりに私は鉛筆を貸してあげよう、とかノートを貸してあげようなど、必ずモノをいただいたら「ありがとう」という言葉ではなく、モノで返すと言うのが、モンゴル人の考え方なのです。モンゴルで有名な揚げ豚まんをおごってくれたときも「ありがとう」ではなくて、じゃあ次は必ず自分がおごり返してあげるということで、ありがとうございますと言いません。

そしてもう一つの答えが、「ありがとう」と言うと、予め欲しがっていたみたいで、なんか揚げ豚まんをおねだりしたみたいでいやらしいと言うのがモンゴル人の常識だそうです。だいぶ私たちの考え方とは違いますね。

言われてみたらそうなのかなあと思いますが、大事なことは「ありがとう」って言わないで良いのだとかではなくて、世界には実にいろいろな考え方をする人々がいるということを知って欲しいなと思ってこの話をしました。もちろん、皆さんは日本に住んでいるわけですから、人に親切にされたときは、「ありがとう」と言える人になって下さいね。

さて、皆さんは給食を食べる前に、何と言って

から食べ始めますか？ そう、「いただきます」と言いますよね。では、この「いただきます」という言葉にはどんな意味があるのか知っていますか？ いったい、何をいただくのでしょうか？ 少し周りの人と相談してみてください。

そう、実はこれはもともと仏教の言葉で、「命をいただきます」という意味なのです。だから、いただきますというときには、どんな仕草をしますか？ そう、「手を合わせて」とかよく言いますよね。よく考えたら、私たちの普段の生活の中で、手を合わせるって言ったら、神社やお寺でお祈りをする時ですよね。なぜご飯を食べる前にも手を合わせるのでしょうか。それは相手の命を頂く事だからなのですね。相手の命をありがたく頂戴して食べるということで、相手の命にお祈りをしているのです。

「ご飯を食べる」と言う毎日繰り返しおこなっていることで、忘れがちなのですけれど、私たちは毎日誰か他の命をいただいて、自分の命を生きているわけです。牛や豚、魚や鶏は、もちろん野菜やパン、お米にも植物の命があるわけで、私たちは他の命を食べないで、食事をすることは難しいと思います。

食べると言う事は、他の命をいただく、実に罪深いことなのです。そう思うと、牛さんや豚さん魚さん野菜さんの命をいただいている、それを残すというのは大変申し訳ないことだと言うことも頭の中には入れておいてください。

では最後に今週の宿題です。今言いましたように私たちは、「いただきます」と言って他人の命を自分の命のために食べるのですが、私たちの食べ物の中で、もともと生き物ではなかった、「命」がなかったものも少しだけあります。パンはもともと「小麦」という植物ですから立派な生き物です。もともと生き物ではない食べ物ってどんなものがあるでしょうか。少し周りの人と相談してみてください。わかったよという人は、先週と同じように校長室前の紙に書きに来てくださいね。